



防災だより

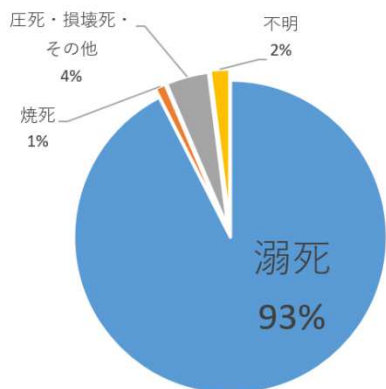
(発行元) 愛南町消防本部防災対策課 Tel.72-0131



3月11日 東日本大震災を忘れない

東日本大震災の概要

日時:平成 23 年3月 11 日 14:46 頃
震源:宮城県牡鹿半島島南東沖 130km 付近
最大震度:マグニチュード 9.0
<高さ 8.5m以上(観測不能)の大津波>
<約 2 万人の犠牲>
※9 割以上が津波による溺死!



震災による避難時の教訓

1. できるだけ早く高いところに!
2. 一度避難したら戻らない!
3. 日頃の備え・訓練が命をつなぐ!

日頃の備えの有無や避難開始時間の違いで、津波が到達するまでに安全な場所へ避難できていた人の割合が変わってくる事が報告されています。

日頃の備えとは

- ・住宅の耐震化
- ・家具等の固定
- ・津波一時避難場所の確認
- ・防災勉強会への参加
- ・避難訓練の実施 など

災害はいつ来るか分かりません!

能登半島の支援から得たもの

被災地支援活動のため、愛南町から3名の職員派遣を行いました。

支援期間:令和6年1月 22 日~31 日
活動場所:鵜巣小学校
支援内容:避難所運営支援

- ・本部周りでの要望対応
- ・給水車からの水の確保
- ・支援物資の受け渡し
- ・シャワールームの管理
- ・避難所内の清掃

避難所は避難者自らが運営しており、職員の支援に頼り切らず、状況を少しでも良くしようと皆で頑張っていた。避難所運営の理想の姿である。

愛南町と奥能登地域は、似た地域性であると感じたが、災害時には能登半島地震に津波被害が上乗せされる。災害への備え、復旧・復興の事前準備が重要であり、行政だけに限らず、地域、個人が我が事としなければ、今後起こりうる大災害を乗り越えることはできない。